

別表 1

科目名	区分	時間数	内容
①小児保健Ⅲ	講義	90 分	①病児・病後児対応 ②各症状に応じた、具体的な対応方法（観察のポイントや各症状に対するケア、処置のほか、最終的に受診を必要な場合はどのような場合かの見分け方のポイントも学ぶことで、容態の急変にも対応できるようにする。）
②特別に配慮を要する子どもへの対応（3～5歳児）	講義	90 分	①気になる行動 ②気になる行動をする子どもの行動特徴 ③気になる行動への対応の考え方 ④気になる行動の原因とその対応 ⑤居宅訪問型保育者の役割 ⑥遊びを通して、子どもの発達を促す方法